

日本の野外彫刻史と山内壮夫



左上：山内壮夫《讃》1956年／左下：山内壮夫《母のひざ》1964年、宇部市真綿川公園設置／右：山内壮夫《産業祈念像》1956年、宇部市真綿川公園設置

日本の野外彫刻の歴史を、明治期の銅像から 21 世紀のアートプロジェクトまで、四つの時期に分類して考えてみます。札幌市内には非常に多くの野外彫刻がありますが、この分類は、そうした彫刻を鑑賞する際のヒントになると思います。さらに、北海道を代表する彫刻家の一人である山内壮夫 (1907-1975) のモニュメントである山口県宇部市の《産業祈念像》(1956年) の制作・設置の経緯を取り上げて、野外彫刻を見るポイントについてより深く考えていきます。

講師 藤井匡 (ふじい・ただす)



1970年山口県生まれ。九州大学文学部卒業。1995年から2007年まで宇部市役所学芸員として『現代日本彫刻展』ほかの展覧会を担当。後にフリーランスとして、東京や大阪での展覧会や、日本各地でのアート・プロジェクトに携わる。単著に『現代彫刻の方法』(美学出版)、『ミニマリズム後の人間彫刻』(阿部出版)など。共著に『語られる佐藤忠良』(学校法人桑沢学園)、『べらべらの彫刻』(武蔵野美術出版局)など。現在、東京造形大学教授。

2023年
3月11日(土)
10:30 - 12:00 (10:00 開場)

会場 **SCARTSスタジオ** (札幌市民交流プラザ2階)
札幌市中央区北1条西1丁目
(地下鉄大通駅30番出口から西2丁目地下歩道より直結。徒歩2分)

料金 **500円** 定員 会場聴講/オンライン聴講各**60**人(事前申込制)

申込方法 2月10日(金)より申し込み開始

会場聴講: 電話受付(先着順)

☎ **011-642-5709**

受付時間 10:00~17:00 月曜休館

オンライン聴講: 下記URLより申込み

<https://chobi20230311.peatix.com>



※申し込みには会員登録が必要です。

※オンライン聴講は、定員に達しない場合でも3月10日(金)12:00に受付を締め切ります。

※オンライン聴講をお申し込みの方は、後日アーカイブ映像をご覧いただけます(7日間限定)。